

令和2年のアユ遡上数が少なかった要因

令和2年の多摩川におけるアユの推定遡上数がここ10年で最も少ない結果となった。要因のひとつとして以下のことが考えられる。

○昨年10月の台風19号に伴う大雨により多摩川でも増水し、流域に大きな被害がでた。

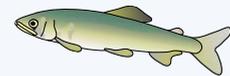
○多摩川におけるアユの産卵期は10月～12月にあたり、多摩川中流域のアユの産卵場では、濁水が継続し、産卵には不適な状況が続いた。

○11月の現地調査では産卵場周辺でアユの卵は少なく、親魚も見られなかった。産卵量は少なかったものと考えられた。

※他河川の遡上状況 例年に比べ少ないところが多い

ex)荒川・・・過去10年平均を下回る (独)水資源機構のHPから

アユの生態



- ・アユの寿命は1年
- ・産卵期は秋、ふ化した仔アユは海に下り、春に川を遡上、川の上流～中流域で成長して、秋に川をくだり、産卵する
- ・多摩川での主な産卵場は河口から15～25kmの区間
- ・産卵川底の好適な条件は粒径5～30mmのきれいな砂利